

瑞浪都市計画教育文化施設の決定（瑞浪市決定）

都市計画教育文化施設を次のように決定する。

名 称		位 置	面 積	備 考
番号	教育文化施設名			
1	瑞浪駅北地区複合公共施設	瑞浪市寺河戸町 沖中及び蟹淵	約 3,700 m ²	

「区域は計画図表示のとおり」

理 由

瑞浪市民の生涯学習推進と文化芸術振興および、瑞浪駅周辺の活性化のため、交通利便性の高い当該位置に、瑞浪駅北地区複合公共施設を設けるものである。

【都市計画決定の理由書】

1. 都市計画及び都市計画の上位計画における位置付け

中心市街地である瑞浪駅周辺では、空き家や空き店舗の増加、人口減少等の課題があり、まちのにぎわいが低下している。

令和4年7月に策定した、瑞浪駅周辺まちづくり基本方針においては、『未来の子どもたちに渡せるまち』をコンセプトに、瑞浪駅周辺を、地域住民だけでなく、訪れる人々や駅利用者にとっても、便利で滞在したくなるような、多世代が交流できるような魅力ある空間とすることとしている。

瑞浪駅周辺エリアには「まちに訪れる目的や滞在する場所がない」「商店街を含めたまちのにぎわいが失われつつある」といった課題がある。また、現在の総合文化センターには「生涯学習推進と文化芸術振興のために、固定化している利用者を増やしたい」「中央公民館と市民図書館が共に築40年以上経ち老朽化している」「稼働率の低い部屋の維持」「将来的な公共施設維持管理費の増加への対策として『瑞浪市公共施設等総合管理計画』に基づく床面積の削減」といった課題がある。これらの課題解決のため、瑞浪駅北地区に、魅力があり、効率的に運営できる複合公共施設を整備する。

上位計画における、都市計画の位置付けについては以下の通り。

「第7次瑞浪市総合計画」

瑞浪駅周辺を交流拠点と位置付け、特性を活かした交流の場としての活用を図ることとしており、瑞浪駅北地区では、人々がまちに集まるきっかけとなるような魅力ある複合公共施設の整備や、市営駐車場の拡張を行う。また、瑞浪駅周辺エリアの利便性向上のため、駅北改札口の設置に向け、協議を進める。

「瑞浪都市計画区域マスタープラン」

魅力ある JR 瑞浪駅周辺地区の創出。JR 瑞浪駅周辺については、本区域の中心拠点としてふさわしい都市機能の維持、にぎわいの創出を図る。

「瑞浪市都市計画マスタープラン」

瑞浪駅周辺地区では、本市の中心部、また玄関口として、にぎわいのある利便性の高いエリアとするため、瑞浪駅周辺の再整備を検討している。再開発事業や、既存建物のリノベーション等により、必要な生活サービス機能の誘導を図る。

具体的には、駅北地区では、既存の市民図書館と中央公民館の貸室機能等を集

約した複合公共施設の整備、駅北ロータリー線の改良、駅北駐車場の拡張を行う。駅南地区では、市街地再開発事業による、再開発ビルの整備や駅前広場の拡張、歩行者空間の改良を検討している。

「瑞浪市立地適正化計画」

瑞浪駅を中心に、市民の快適な生活環境を支える都市機能を集約し、様々な活動や交流・賑わいの中心となる拠点と位置付け。

「瑞浪駅北地区複合公共施設基本計画」

瑞浪駅周辺のまちの課題と、総合文化センター（中央公民館・市民図書館を併せた総称。以下同様。）の課題の両方を同時に解決するため、瑞浪駅北地区に、図書館や貸室等の中央公民館機能の一部を集約し、新たな機能を追加した複合公共施設を整備する。

2. 都市計画決定の必要性

にぎわいが低下している等のまちの課題、利用者を増やしたい等の教育文化施設の課題を解決するため、交通結節点である瑞浪駅の北側に複合公共施設の整備を行う。またこの施設が、将来にわたり適切に維持管理され、瑞浪市の文化活動の拠点として活用され、さらに、まちのにぎわいの中心としての役割を果たすために、都市計画決定を行う。

3. 位置・規模の妥当性

交通利便性の高い瑞浪駅の北側で、計画している北口改札に近接して整備することで、公共交通でも施設に訪れることが容易となる。また、複合公共施設の整備と合わせ、市営駅北駐車場の拡張と、駅北ロータリーの改良を行うため、自動車での利用にも対応できる立地である。さらに、交流拠点である駅北地区に魅力ある公共施設を整備することで、人が訪れることになり、まちのにぎわい創出につなげる。

計画地の規模については、施設の屋外部分でも市民活動が行われるよう、ゆとりのある空間配置とする。